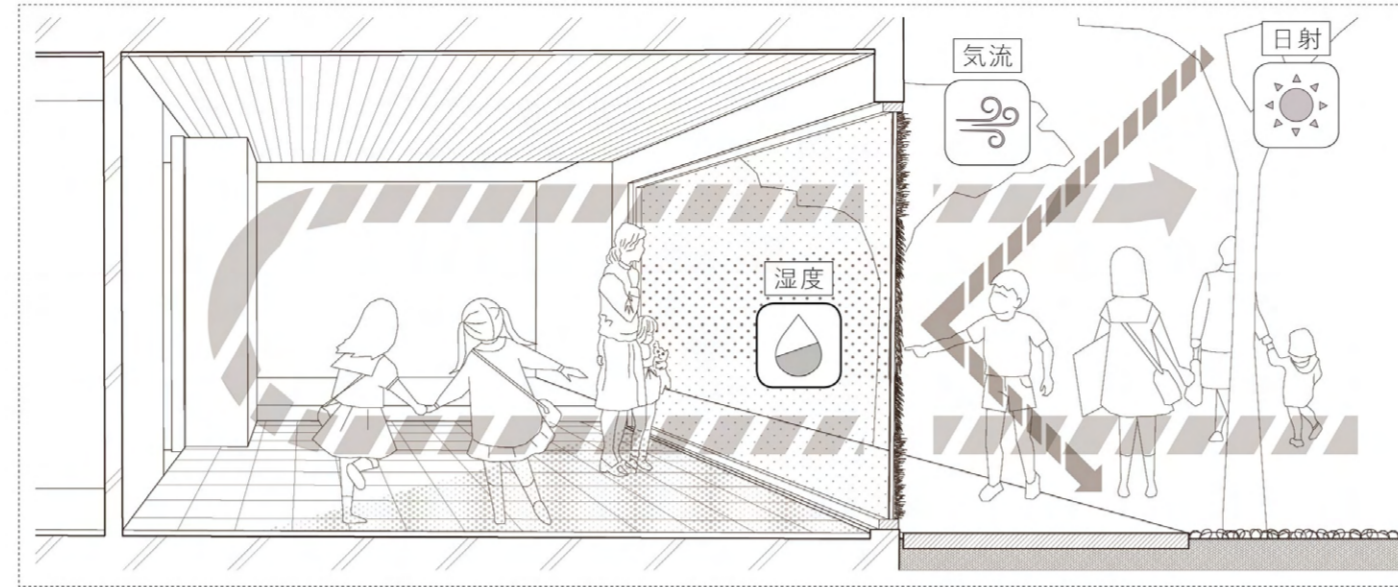


# ガラスのパレット

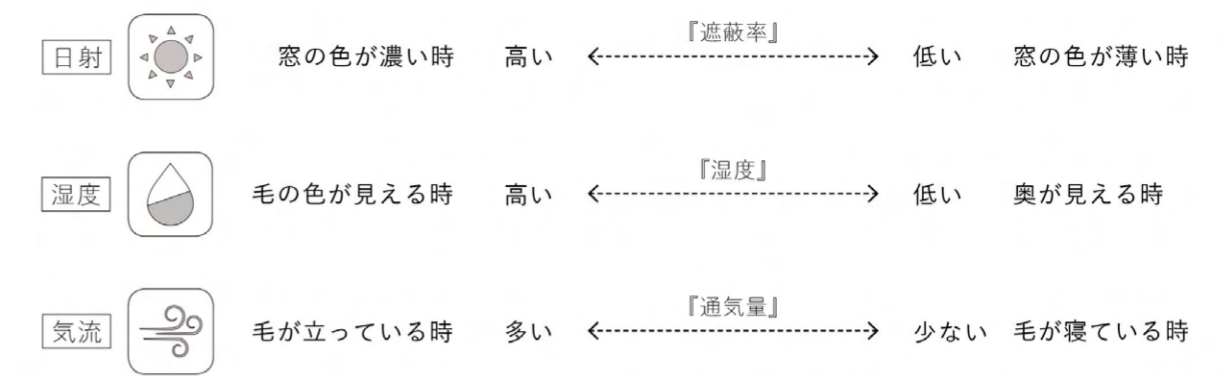
- 手で描く温熱環境 -

従来の窓ガラスは、開く／閉じるという両極端な機能で空間の自由度が低い。暮らす人の意識と動作のすべてがガラスとつながることで生活になじみ、『カラーパレット』のように空間を描くことができる野生のガラスを提案する。

○ 人のふるまい、環境とつながるガラス  
人のふるまいを通して、ゆるやかに空間の環境を操作することができる。ガラス面にその様相が現れる。

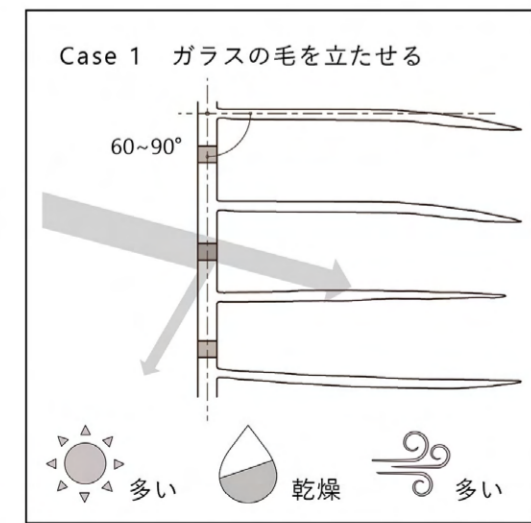
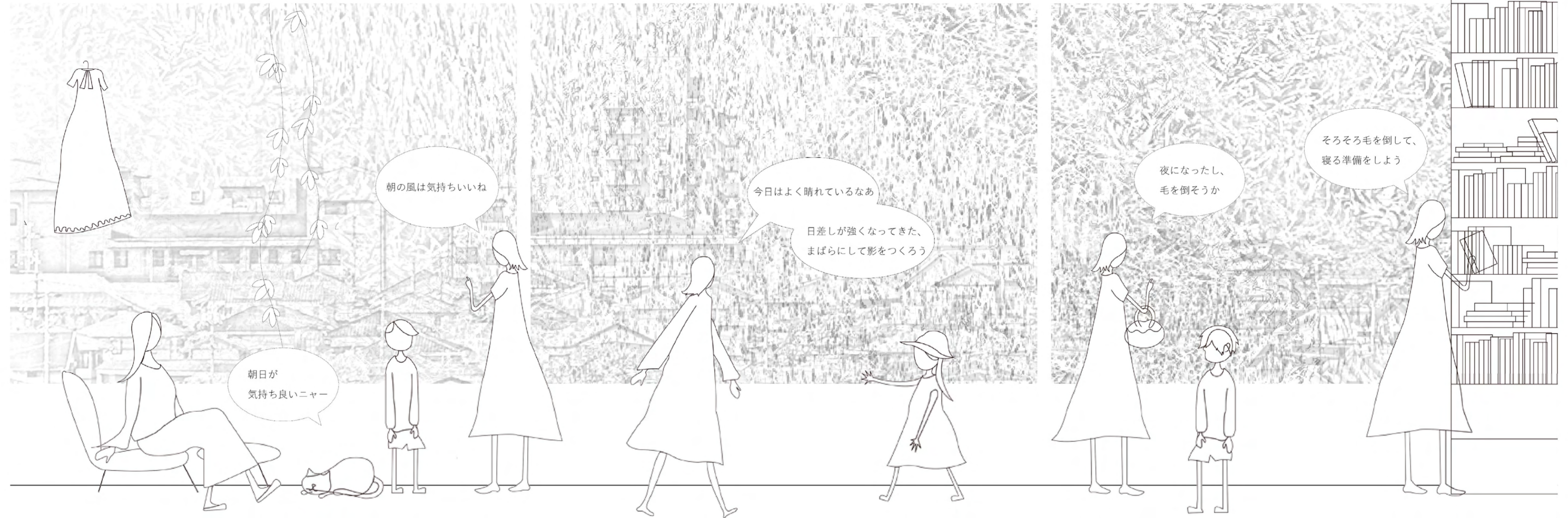


○ ガラスのふるまいと空間の環境  
人のふるまいを通して、ゆるやかに空間の環境を操作することができる。ガラス面にその様相が現れる。

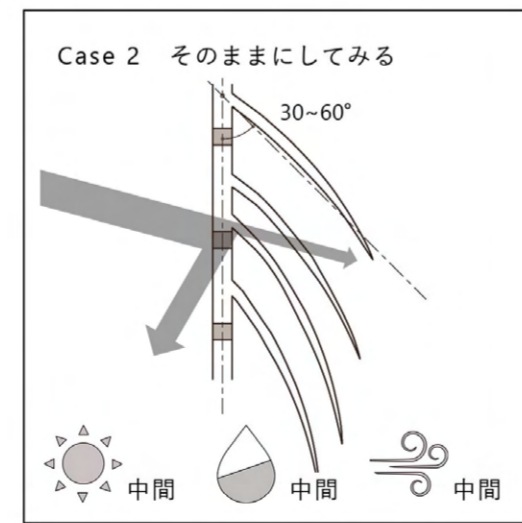


日本には四季がある。温熱環境のコントロールされた閉じた空間から夏の街路に落ちる木陰や季節で異なるにおいを持つ風など、自然をありのまま感じることを気持ちよさを取り込み、自然に生きる動物のように場所や生物の相互関係によって変化していく『野生』。

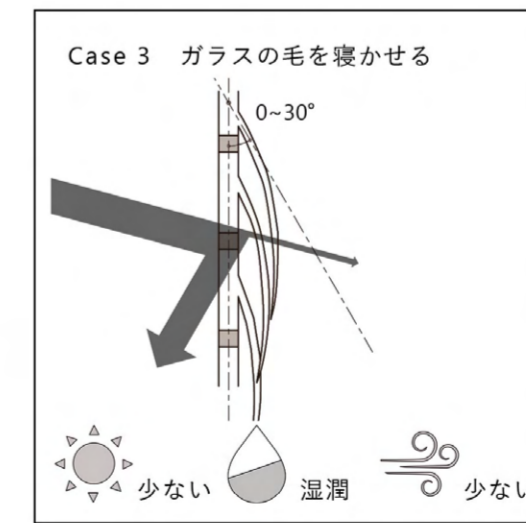
○ ガラスのふるまいと分布する種々の活動



○ ガラスの毛を立てせてみる  
毛が立っていると『風』はガラスに開いた小さなあなを通して吹き込み、『日射』が差し込む。『湿度』によって変化する毛の色も正面から見ると外の景色を映し出す。よく晴れた日には、ゆるやかな風のなかでひなたぼっこを楽しみたい。



○ ガラスの毛を無造作に触れてみる  
毛を無造作に触ると、さまざまな方向に向いた毛先によって『日射』が乱反射して『湿度』によって変化した色に、室内は明るく、しかし視線はほどよく遮られ落ち着いた空間ができる。



○ ガラスの毛を寝かせてみる  
風が吹きつける日や真夏の日は、寝かせた毛が『風』を防ぎ、『日射』を遮る。全体の毛を倒すのではなく、部分的になることで暮らしの場面にあわせた調整が可能になるだろう。落ち着いた空間で静かな時間を過ごしたい。